

令和7年度 予算を公表します

財政課財政係 ☎(63)2151

鹿沼市の財政は、自主財源の根幹をなす市税の増収が予想されますが、物価高騰等により、市の負担も増大するなど、厳しい状況が続いています。このような中で、令和7年度はこれまで目指してきた「花と緑と清流のまち 笑顔あふれるやさしいまち」を実現できるよう、各種取り組みを着実に推進するとともに、新たなまちづくりの指針とする次期総合計画の策定作業を進めます。

令和7年度 一般会計の当初予算

予算規模 433億6,000万円(前年度対比6.1%増)

歳入

市税 市民税や固定資産税など	151億9,947万円	35.1%	自主財源	48.0%
使用料、手数料など 市営住宅使用料やごみ処理手数料など	10億493万円	2.3%		
諸収入、繰入金など 給食費や貸付金元利収入、各種基金からの繰入金など	45億9,552万円	10.6%		
地方交付税 どの地域に住む人にも一定の行政サービスを提供できるように、国から交付されるもの	62億円	14.3%		
国・県支出金 国や県からの補助金など	108億7,797万円	25.1%	依存財源	52.0%
市債 道路建設などの事業を行うときの借入金	17億130万円	3.9%		
交付金など 消費税や自動車重量税など国・県に納めた税金の一部が一定の基準で交付されるもの	37億8,081万円	8.7%		

【目的別】

歳出

民生費 児童福祉や生活保護費などの福祉事業費	167億6,162万円	38.7%
総務費 総務関係の職員の人件費や庁舎管理費、地域のチカラ協働事業費、リーバスの運行費など	57億8,579万円	13.3%
教育費 小中学校や図書館、美術館の管理費など	51億5,263万円	11.9%
衛生費 健康づくりに係る費用やごみ処理費など	35億1,928万円	8.1%
土木費 市道の建設・維持管理や区画整理事業費、市営住宅の維持管理費など	34億7,201万円	8.0%
公債費 借入金の返済金(元金・利子)	34億6,925万円	8.0%
商工費 中小企業への融資や各種イベントに係る経費など	20億9,767万円	4.8%
消防費ほか 消防や救急に係る経費や議会費、農林水産業費など	31億175万円	7.2%

水道・下水道事業会計の予算

水道・下水道事業会計は、上下水道管理運営のための会計で、独立採算制をとっています。

○水道事業会計

収益的収支 (維持管理)	収入	15億5,605万円
	支出	15億5,562万円
資本的収支 (設備投資)	収入	7億608万円
	支出	16億2,160万円

○下水道事業会計

収益的収支 (維持管理)	収入	24億462万円
	支出	24億97万円
資本的収支 (設備投資)	収入	8億5,896万円
	支出	16億9,599万円

特別会計の予算

特別会計は、特定の収入をもって特定の事業を行う会計で、一般の収入や支出と区別して個別に経理しています。

会 計 名	予 算 額
国 民 健 康 保 険	95億4,900万円
公設地方卸売市場事業費	1,210万円
介 護 保 険	85億7,500万円
後 期 高 齢 者 医 療	14億9,900万円
粕 尾 財 産 区	21万円
清 洲 財 産 区	105万円
合 計	196億3,636万円

合併20周年記念・戦後80年事業 440万円

市町合併20周年を記念し、市民との協働・共創による記念事業を実施します。
戦後80年の節目をむかえ、戦争と平和に関する講演会を開催します。

学校教育環境の充実 15億8,478万円

小中学校体育館にエアコンを設置します。また、学校再編計画に基づく統合校の開校に向けて、非常勤講師を増員します。

全てのこどもが安全・安心に 成長できる環境づくり 7億145万円

妊娠・出産時の給付金を総額20万円に倍増し、子育て世帯の経済的負担を軽減します。また、就労要件にかかわらず保育園を利用できる「こども誰でも通園制度」を試行します。
学校給食および保育園副食費の物価高騰分を支援します。

鹿沼の魅力創出 6,122万円

新卒者就職祝金や奨学金返還支援により、移住・定住、就労を促進します。

防災機能の充実 2億5,578万円

化学車・救急車の更新や栗野分署の非常用発電機改修を行うほか、自主防災会の設立・活動の支援、防災士の養成等、地域の防災体制を強化します。

道路整備 11億5,087万円

安全安心な通学路の整備、道路・橋りょうの整備・改修、長寿命化対策、道路排水対策等を通して、安全で快適な道路環境の充実を図ります。

新健康都市かめまの 推進 3億7,124万円

予防接種や健診事業を拡充します。9月を健康月間と位置付け、健康マイレージ事業など意識啓発や健康教室の充実等を推進します。

物価高騰対策 2億9,216万円

消費喚起と事業者のデジタル化を推進するため、「キャッシュレス決済ポイント還元事業」の実施や、「プレミアム付き商品券事業」の支援を行います。

外国人に優しい まちづくりの推進 2億9,473万円

外国人住民に対し、一元的相談窓口による生活や教育支援等を行い、安心して生活できる優しいまちづくりを推進します。

ひきこもり地域支援 センターの設置 2,303万円

ひきこもり当事者やその家族への包括的な支援に加え、市民のひきこもりに関する理解促進や支援者の養成を行うため、「ひきこもり地域支援センター」を設置します。

堆肥化センター 堆肥舎の整備 1,579万円

老朽化した堆肥舎の再整備に向け、機能診断および設計業務を実施します。

新たな産業団地の 整備 2億5,184万円

鹿沼インター産業団地について、令和7年度の事業完了に向け整備を進めるとともに、次期産業団地候補地の現況測量等の調査を実施します。

次期総合計画の策定 119万円

市民との協働・共創により本市の魅力と実力を引き出すため、新たなまちづくりの指針となる「次期総合計画」を策定します。

これらの 重点事業を 推進していきます

令和7年度は、鹿沼市と栗野町との合併から20年、戦後80年などさまざまな節目を迎えることから、これまで築いてきた土台を基に、新たなステージを開拓する予算として、時代の変革に合わせ、子育て支援策の拡充や、教育環境の充実を図るとともに、DXの推進等による行政サービスの質や利便性の向上、安全安心な暮らしを守る道路の整備などを推進します。

カーボンニュートラルの 推進 6,151万円

本庁舎に太陽光パネル発電設備を設置するとともに、市民の脱炭素化設備の導入を支援します。

DX推進 4億4,101万円

保育業務支援システムなど、DXの推進による住民の利便性向上と行政運営の効率化を図るほか、民間のデジタル機器の導入等を支援します。

